



The Association for Overseas Technical Cooperation and Sustainable Partnerships

30-1, Senju-azuma 1-chome, Adachi-ku, Tokyo 120-8534

Tel: 81-3-3888-8256 Fax: 81-3-3888-8242 E-mail: shouhei-au@aots.jp URL: <http://www.aots.jp/>

技術・人材協力を通じた
新興国との共創推進事業
(研修・専門家派遣・寄附講座開設事業)

2026 年 8 月

募集要項

中南米・組織活性化マネジメント研修コース

The Program on Organizational Revitalization for Latin America

[LAOR]

2027 年 1 月 13 日～1 月 26 日

1. コース開設の背景：

一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）は、主に海外の産業人材を対象とした研修及び専門家派遣等の技術協力を推進する人材育成機関です。これらの事業を通じて、日本と海外諸国相互の経済発展に貢献するとともに、友好関係の増進にも寄与します。

AOTS は 1959 年（昭和 34 年）8 月に日本で最初の民間による技術協力機関として通商産業省（現・経済産業省）の認可を受け設立され、これまでに日本で実施した研修には、2024 年度（令和 6 年度）までに世界 198 の国と地域から延べ 200,000 人余りが参加したほか、海外で実施した研修にも延べ 240,000 人余りが参加しています。

AOTS は帰国後の参加者や開発途上諸国の産業界からの要望に基づき、様々な研修コースの企画、開発に努めています。

「中南米・組織活性化マネジメント研修コース（LAOR）」は、一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）が実施する管理研修コースの 1 つです。本コースは中南米の開発途上国の主に経営者・経営幹部、上級管理者を対象に開設され、企業等において組織を活性化させることのできる人材の育成を目的として実施します。講義を通して、組織活性化を促すリーダーの姿勢を理解・検討するとともに、演習を通して組織開発の手法を学びます。さらに企業理念の浸透や組織開発の取り組みを行っている日本企業の事例を学び、参加者が自社の今後の経営の在り方を考え、組織を活性化させるための帰国後のアクションプランを作成することにより、参加者のリーダーシップ能力向上を図ります。

2. 対象国：

中南米の開発途上国または地域（下表参照）

アルゼンチン	ボリビア	ブラジル	コロンビア	コスタリカ
キューバ	ドミニカ国	ドミニカ共和国	エクアドル	エルサルバドル
グレナダ	グアテマラ	ガイアナ	ホンジュラス	ハイチ
ジャマイカ	メキシコ	モントセラト	ニカラグア	パナマ
パラグアイ	ペルー	セントルシア	セントビンセント及び グレナディーン諸島	スリナム
ベネズエラ				

3. 参加者の人数：

25 名

4. 参加資格：

以下の資格を有することが必要です。

- (1) 原則として、企業における経営者・経営幹部・上級管理者
 - (2) 原則として、コンサルタントでない方
 - (3) 原則として業務経験 5 年以上の方
 - (4) 原則として、年齢が 20 歳以上の方
 - (5) 大学卒またはこれに準ずる職歴を有する方
 - (6) スペイン語による聴講、討論、発表、報告書作成ができる方
 - (7) 心身健康な方
 - (8) 上記 2 の対象国または地域に居住の方
 - (9) 学生でない方、軍に籍をおいていない方
 - (10) 過去に AOTS が実施する国庫補助事業の研修制度で来日した方は、帰国後半年（183 日）以内に開始されるコースに応募することはできません。
- ＊ 勤務先が日系企業、日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望している企業の方が望ましい。（日系企業や日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望している企業からお申込みいただいた場合、選考時の優先順位が高くなります。）

注意：

- (1) コース参加者は、研修コースの全てのカリキュラムに参加する必要があります。
- (2) 日本へ家族や会社の同僚・部下等を同伴することはできません。
- (3) 参加者はAOTSに対してプログラムの追加を要望したり、自身でプログラムを計画したりすることはできません。このコースの終了後速やかに帰国しなくてはなりません。ただし、日本の受入企業がこのコースの終了後、実地研修を計画し、AOTSの承認を受けた場合はこの限りではありません。
- (4) 日本以外の先進国資本が入った企業からお申込みいただいた場合は、選考時の優先順位が低くなります。
- (5) 本研修は、主に民間企業・団体に勤務する方を対象としているため、中央・地方政府機関からお申込みいただいた場合は、選考時の優先順位が低くなります。
- (6) 申し込み人数が定員を上回る場合は、日本の受入企業または海外の派遣企業 1 社当たりの参加人数を制限させていただくことがあります。

5. 応募方法：

日本国内の法人（親会社等）を通じて申し込む場合と、海外の現地法人が直接 AOTS に申し込む場合では、応募方法、提出書類等が異なりますので、ご注意ください。

- (1) 管理研修参加後に実地研修を希望する場合、受入企業となる日本国内の法人（親会社等）を通じて申し込む必要があります。
- (2) 日本国内の法人を通じて申し込む場合、渡航費は対象となりません。但しアフリカからの参加者を受入れる場合のみ渡航費を対象とします。

（日本国内の法人を通じてのお申込みの場合）

- (1) 仮申込み：お電話、または E-mail にて検討されている研修の概要（研修対象者の属性、実地研修の有無等）をご連絡ください。そのうえで、以下の応募書類を **2026 年 10 月 19 日（月）** までに、AOTS 企業連携第 1 グループ／第 2 グループ（1 2. お問い合わせご参照）までご提出ください。
1. 研修申込書（概要） 2. 研修生個人記録並びに研修契約に関する申告書 3. 事前研修レポート
- (2) 本申込み：仮申込み受理の連絡を受けた後、本申込みに必要な書類の準備、段取りなどについて、ご案内いたします。
※ご不明点等ありましたら企業連携第 1 グループ／第 2 グループにお問い合わせください。（1 2. お問い合わせご参照）
※上記 AOTS 所定様式は当協会ホームページからダウンロードできます。
【日本語】<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/download/#kanri-shinkokoku>

（海外の現地法人から AOTS に直接お申込みの場合）

AOTS 海外協力機関を通して、以下の応募書類一式を PDF・エクセル両方の形式で、**2026 年 10 月 19 日（月）** までに AOTS 海外協力第 1 グループに到着するように提出してください。

応募書類の提出期限は、各機関によって異なりますので、AOTS 海外協力第 1 グループ（1 2. お問い合わせご参照）にお問い合わせください。

お申込者には AOTS 海外協力機関による面接をさせていただきます。

- (1) 研修申込書、研修生個人記録申告書（AOTS 所定様式：手書きの記入は避けてください）
※PDF・エクセル両方のソフトコピーを提出
- (2) 日本企業との取引および日本市場への参入に関する調査票 ※エクセル
- (3) 問診書（AOTS 所定様式：手書きの記入は避けてください） ※PDF
- (4) 研修生個人情報の取り扱いについて（AOTS 所定様式） ※PDF
- (5) 海外旅行保険承諾書（AOTS 所定様式） ※PDF
- (6) 研修契約に関する申告書（日系派遣企業用） ※PDF
- (7) 勤務先概要を紹介する資料 ※PDF
- (8) 顔写真データ（データタイトルに氏名を入力してください） ※JPEG または PDF
- (9) パスポートコピー ※PDF
※パスポートをお持ちでない場合は、自動車免許証コピーや ID カードコピー等（公的機関により発行されたもので、写真があり、ローマ字で氏名、生年月日が記載されているもの）を提出してください。
- (10) 事前研修レポート ※エクセル

注意：

※他にも必要に応じて書類を求めることがあります。

※AOTS 所定様式については AOTS 海外協力第 1 グループ（12. お問合せご参照）にお問合せください。

提出された応募書類は、**2026 年 11 月 19 日（木）**の審査委員会で審査されます。審査結果は審査委員会終了後、AOTS より連絡いたします。

注：応募者が締切日時時点で定員に満たない場合、本コースを中止または延期する場合があります。

6. 研修コースの概要：

■ 目的

本コースは、企業等において組織を活性化させることのできる人材の育成を目的として実施します。講義を通して、組織活性化を促すリーダーの姿勢を理解・検討するとともに、演習を通して組織開発の手法を学びます。さらに企業理念の浸透や組織開発の取り組みを行っている日本企業の事例を学び、参加者が自社の今後の経営の在り方を考え、組織を活性化させるための帰国後のアクションプランを作成することにより、参加者のリーダーシップ能力向上を図ります。

■ 期待される効果

- (1) 経営理念やビジョンの浸透を通じて、社員が主体的かつ創造的に行動する組織文化を醸成できることを学ぶことができます。
- (2) 組織開発の実践により、社員のエンゲージメント向上と組織全体の活性化を実現できることを学ぶことができます。
- (3) ナレッジマネジメントの活用により、知識共有を促進し、持続的な成長と組織変革を推進できることを学ぶことができます。
- (4) 研修学んだことをもとに参加者が自社の今後の経営の在り方を考え、組織を活性化させるための帰国後のアクションプランを作成することにより、リーダーシップ能力向上を図ることができます。

■ 期間

2027年1月13日（水）～1月26日（火）（14日間）

■ 内容

【経営理念の浸透と組織開発を実現するリーダーシップの理解】

企業経営者としてのリーダーシップの在り方、昨今求められるリーダーシップを理解する。企業の経営理念・ミッション・ビジョンの重要性、リーダーとしてそれらを組織へ浸透させる方法を学ぶ。また、経営者のリーダーシップにより経営理念を組織に浸透させ社員一人一人が自ら考え創造的に働く組織文化を醸成している企業を訪問し、経営者との意見交換を行う。

【組織開発の考え方・手法による組織活性化の理解】

組織活性化の経営手法として組織開発について学び、「人と組織の力」を最大限に引き出す知識と実践力を身につける。組織の課題を分析し、社員の主体性やエンゲージメントを高めながら、部門間連携や職場内のコミュニケーションを改善する手法を様々なワークを通して学ぶ。変化の激しい経営環境に対応できる組織づくりや、持続的な成長を促すリーダーシップのあり方についても理解を深める。また組織開発を実践して組織を活性化させている日本企業を訪問し、経営者・幹部等との対話を通じて自社においてどのような取り組みが可能かを考察する。

【ナレッジマネジメント（知識創造企業）による組織変革組織の進め方の理解】

日本発の経営手法であるナレッジマネジメントを学ぶことで、組織内に存在する個人の経験やノウハウを共有・活用し、新たな価値やイノベーションを生み出す仕組みを理解する。また、知識の蓄積・継承を通じて組織の競争力を高める方法や、部門間の連携を促進して問題解決力を向上させる手法を習得する。経営資源としての「知識」を戦略的に活用し、持続的な成長と変革を実現する組織づくりを学ぶ。

【経営理念の浸透と組織活性化に向けたアクションプラン策定】

自社の今後の経営の在り方を考え、経営理念やビジョンの浸透方法、意欲・自主性・創造性を出す方法など、帰国後のアクションプランを立て、発表する。

コースは通常午前3時間、午後3時間の講義からなり、夕方にはグループ討論が行われます。
日程表（予定）をご覧ください。

■ 使用言語

講義、企業見学、演習はスペイン語あるいはスペイン語通訳付で行われます。コースで使用する資料と教材はスペイン語で作成されます。

■ 研修場所と宿泊施設（予定）

AOTS 関西研修センター(KKC) <http://www.aots.jp/jp/center/about/kkc.html>

〒558-0021 大阪府大阪市住吉区浅香1丁目7-5

電話：06-6608-8260（受付） ファックス：06-6690-2678

中南米・組織活性化マネジメント研修コース[LAOR] 日程（案）

2027 年 1 月 13 日～1 月 26 日

AOTS 関西研修センター（予定）

日付	午前	午後
1 月 12 日 (火)	(来日)	
13 日 (水)	オリエンテーション 開講式	【講義】リーダーシップ概論
14 日 (木)	【講義】企業理念・ビジョンと経営戦略	
15 日 (金)	【講義】組織開発による組織活性化①	
16 日 (土)	休日	
17 日 (日)	休日	
18 日 (月)	【講義】組織開発による組織活性化②	
19 日 (火)	【講義】組織開発による組織活性化③	【見学】組織開発事例①
20 日 (水)	【見学】経営理念の浸透事例	【見学】経営者のリーダーシップ事例①
21 日 (木)	【見学】組織開発事例②	【見学】組織開発事例③
22 日 (金)	【講義】知識創造企業（ナレッジマネジメント）による組織変革	
23 日 (土)	休日	
24 日 (日)	休日	
25 日 (月)	最終レポート発表（グループ内）	【見学】経営者のリーダーシップ事例②
26 日 (火)	最終レポート発表（全体）	修了式
27 日 (水)	(帰国)	

注意：

- (1) 上記のスケジュールは、講師や協力企業の都合、その他のやむをえない事情のために変更されることがあります。
- (2) 夕食後グループ討論を行うことがあります。
- (3) 土曜、日曜は原則として休日ですが、必要に応じて講義の予定が組まれることがあります。

7. 到着日及び出発日について：

参加者は、原則として研修開始日前日に日本に到着し、研修終了日翌日に日本を出発することとします。

8. 経費：

<日本国内の法人からお申し込みの場合>

以下の試算例をご参照ください。

いずれの試算例も、コース開始前日 1/12 来日・終了日翌日 1/27 帰国 14 日コース
関西国際空港・関西研修センター間移動の場合です。

【試算例 1】中小企業の場合 受入費補助率 2/3

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	200,320	[2/3] 133,546	[1/3] 66,774
2. 研修実施費	612,000	406,000	206,000
合計	812,320	539,546	272,774

【試算例 2】大企業（一般分野）の場合 受入費補助率 1/3

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	200,320	[1/3] 66,773	[2/3] 133,547
2. 研修実施費	612,000	356,000	256,000
合計	812,320	422,773	389,547

【試算例 3】大企業（重点分野）の場合 受入費補助率 1/2

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	200,320	[1/2] 100,160	[1/2] 100,160
2. 研修実施費	612,000	381,000	231,000
合計	812,320	481,160	331,160

※受入費は下記受入費基準額一覧をもとに計算しております。そのほか、国内移動費（関西国際空港・関西研修センター間）および厚生費（管理研修期間中の海外旅行保険代等）が含まれます。

※渡航費は補助対象外となります。

※研修コース参加後に実地研修をご希望の場合、経費については、AOTS 企業連携第 1 グループ/第 2 グループ（1 2. お問い合わせご参照）にお問い合わせ願います。

※中小企業とは中小企業基本法に規定する中小企業、一般企業とは中小企業以外の企業をいいます。但し、中小企業以外の企業に直接又は間接に 100%の株式を保有される事業者は中小企業としません。

※重点分野とは大企業のみが対象で、通常 1/3 の国庫補助率を 1/2 に引き上げられる案件で、実地研修の内容が開発途上国・地域の産業発展に大きく寄与する技術協力と認められるもの（新法人や新工場の立ち上げや先進的な新製品・新サービスの立ち上げの対応等（サプライチェーンの多元化・強靱化に大きく寄与する案件を含む）に該当するものをいいます。

◎受入費基準額一覧

AOTS 研修センター 宿舎費・食費	来日日のみ	11,200 円／泊
	来日以外	12,200 円／泊
研修旅行時	宿舎費	14,500 円／泊
	食費	3,200 円／泊
雑費		1,000 円／泊

※管理研修終了後、実地研修を実施することができます。その場合、以下実地研修費が補助対象となります。

実地研修費	AOTS 基準	備考
実地研修に必要な経費に充当 (実地研修期間中における研修用資材、 研修生の交通費、受入企業の指導員の人 件費などの諸経費に充当するもの)	大企業 3,360 円／日	・日額単価・暦日 ・研修生への支払い方法は現物提供
	中堅・中小企業 5,190 円／日	

<海外の法人からお申し込みの場合>

英語版募集要項(The Program Outline)をご参照下さい。下記 URL より該当コースの募集要項をダウンロードください。

<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/management/course/>

9. 査証 (VISA) の取得について:

(1) 在留資格

日本で研修するために必要な在留資格は「研修」です。

(2) 査証の取得

参加者は、AOTS が発行する「GUARANTEE LETTER」等必要な申請書類をもって自身で在外日本国大使館/総領事館 (以下「在外公館」とする) にて「研修」査証の申請、取得をしてください。ただし、申請書類が本省照会となり時間がかかる場合があるため時間に余裕をもって申請することを強くお勧めします。

(3) 注意事項

既に「短期滞在査証」、「短期数次査証」、「APEC・ビジネス・トラベルカード (ABTC)」等、「研修」以外の査証を取得している方、または査証免除国・地域からの参加者は、既存の査証が日本での研修コース参加という滞在資格に合致していることを事前に、必ず最寄りの在外公館にて事前確認してください。

10. 海外旅行保険の付保について

AOTS は、参加者に対し日本に到着した時から、日本を出発するまでの期間を補償対象とした海外旅行保険を付保します。付保内容は傷病により医療機関で診療を受ける際の医療費と賠償責任・救済者費用で構成されています。別紙を参照の上、研修申込時に海外旅行保険付保に対する同意の意思確認のためサイン済みの同意書を提出してください。

11. 個人情報の取扱いについて:

AOTS が取得する応募者の個人情報については以下のとおり取扱います。

(1) 個人情報の管理者: 一般財団法人海外産業人材育成協会 総務企画部長

連絡先: 総務企画部 総務・人事グループ

電話: 03-3888-8211 E-mail: kojinjoho-cj@aots.jp

(2) 利用目的

ご提供いただいた個人情報は、参加者受入及び研修実施に関する事務手続きのために利用します。それ以外の利用目的または法令に基づく要請の範囲を超えた利用はいたしません。

尚 AOTS の個人情報保護方針は、<http://www.aots.jp/jp/policy/privacy.html> をご覧ください。

1 2. お問い合わせ：

一般財団法人 海外産業人材育成協会

日本国内の法人を通じてのお申込の場合

企業連携部 企業連携第1グループ／第2グループ

住所 〒120-8534 東京都足立区千住東1丁目30-1

電話：03-3888-8221

Fax：03-3888-8428

E-mail: kigyo-inquiry-az@aots.jp

海外の法人から直接のお申込の場合

海外統括部 海外協力第1グループ

住所 〒120-8534 東京都足立区千住東1丁目30-1

電話：03-3888-8256

Fax：03-3888-8242

E-mail: shouhei-au@aots.jp

PRE-TRAINING REPORT

- The Program on Organizational Revitalization for Latin America -
[LAOR]

Please complete the following items in English using a computer or similar device, **within 100 words per item**, in **the specified Excel format**.

This document will be used as a reference material in 1) the screening process of applicants and 2) the group discussion and the presentation to be held during the program by sharing with lecturers and other participants. Therefore, the **applicant is requested to fill in all of the items clearly and concretely**.

Please submit the pre-training report in the specified Excel format, not in PDF, Word format, etc.

The Excel format is available from the Overseas Collaborating Organization or the URL below.

<https://www.aots.jp/en/what-we-do/hrd/management/subsidized/list-of-courses/>

***AOTS will not use this information for any other purposes other than an AOTS training program.**

1. Your name	
2. Name of your company/ organization	
3. Your Country	
4. Outline of your company/ organization (Please give a brief description or outline of your company/organization. In addition, please also attach a brochure of your company/organization if available.)	
5. Your position and the name of your department (preferably by attaching an organizational chart indicating your position)	
6. Your duties in detail	

7. Please write down your company/ organization's corporate philosophy/ credo/ Mission and vision. (if any)	
8. What is the most critical challenge you are now facing in cultivating company/ organization's corporate philosophy /credo/Mission and vision into your organization? (if any)	
9. What do you think are the qualities of a leader necessary for organizational revitalization?	
10. What are your expectations of this training program?	